

30年度 川崎市認定保育園協議会総会

開催日 : 平成 3 0 年 4 月 1 3 日 (金)

時 間 : 1 8 : 0 0 開催

会 場 : ホテル精養軒

～ 次第 ～

1. はじめの言葉

2. 出席者紹介

3. 議長選出

- | | | |
|-----------|---------|----------------|
| 4. 議 事 | * 第1号議案 | : 2 9 年度事業活動報告 |
| | * 第2号議案 | : 2 9 年度会計決算報告 |
| | * 第3号議案 | : 3 0 年度事業計画案 |
| | * 第4号議案 | : 3 0 年度会計予算案 |

第1号議案

29年度 事業活動報告

1. 4月21日 アンデルセン展への参加（川崎市民ミュージアム）

川崎市が姉妹都市を結んでいるコペンハーゲン市の主催で開催されたアンデルセン展開会式に出席。福田市長及び出席議員と名刺交換。

2. 5月24日 川崎市こども未来局保育課との懇談会（川崎市役所第3庁舎会議室）

当協議会の要望について、こども未来局原田部長、藤平課長と懇談。

要 望 ① 11時間開園における助成および延長保育助成

回 答 ＊ 却下。川崎認定保育園A型は11時間開園と定められているため。

要 望 ② 職員処遇改善費の支給

回 答 ＊ 保育士不足の現状は理解している。市としても就職相談会、バス訪問を実施して保育士確保に努めている。案件については要検討。

＊ 常勤保育士に月額6,000円、非常勤保育従事者に時給50円、常勤保育士の各種研修等参加費用の一部補助（1人あたり年額7,000円）

要 望 ③ 立入調査の公平化

回 答 ＊ 立入調査については公平におこなっている。不審な点があったならば速やかに連絡してほしい。

要 望 ④ 認可保育所と認定保育園の有資格者への格差是正について

回 答 ＊ 無回答

3. 6月9日 厚生労働副大臣（古屋衆議院議員）と懇談（厚生労働省副大臣室）

認可保育所と認可外保育施設で働く有資格者への格差是正を訴える。要望書を提出。

4. 7月13日 川崎市こども未来局保育課との懇談会（川崎市役所第3庁舎懇談室）

川崎市に処遇改善費について談判。その際、署名活動をおこなう旨を通知。

（川崎市役所第3庁舎懇談室）

5. 7月20日 公明党川崎市議会議員主催川崎市政策懇談会（川崎市議員庁舎会議室）

公明党全川崎市議会議員団に協議会の要望について懇談

要 望 ① 川崎認定保育園を実習施設としての承認を要望

回 答 ＊ 国の決議事項であるため、今後、国へ要望する。（公明党川崎市議会議員団）

要 望 ② 保育士試験直前対策講座を希望者全員が受講できるよう要望。

回 答 ＊ 受講ニーズにより会場を設置場所や会場数の増加などを検討。

（こども未来局事業調整・待機児童対策担当）

要 望 ③ 開園時間、午前7時30分からの開園を選択できる制度の導入を要望。

回 答 ＊ 川崎認定保育園A型においての基本保育時間を午前7時～午後6時までの11時間として、更に2時間以上の延長保育を義務付けておりますが、基本保育時間を午前7時30分から午後6時30分までの選択ができるものとした場合でも、民間認可保育所と同様に午前7時～7時30分までの延長保育は必要となり、午後6時30分～午後8時までの延長保育を考慮しますと、延長保育における職員配置数は基本保育時間とは異なるものの、現在のA型の基準と同一時間枠となりますことから、現行制度で対応しているところでございます。

（こども未来局事業調整・待機児童対策担当：原文）

要 望 ④ 早期時間帯における有資格者の配置基準の緩和を要望

回 答 ＊ 川崎認定保育園A型については、国及び川崎市が定める指導監督基準及び認定基準を満たしたうえで、将来、認可保育所等の保育の質の確保のための客観的な基準を満たした施設への移行が可能と判断される施設として位置付けており、手厚い職員配置基準を緩和させることは現状では難しいところでございます。

保育士の確保につきましては、本市におきましても様々な取組を展開しているところでございますので、ご活用いただければと思います。

（こども未来局保育課：原文）

6. 9月10日 福田市長 選挙事務所開きに参加（中原区 武蔵新城）

市長選挙への選挙事務所の開設に伴い事務所開きに参加。

当協議会より胡蝶蘭を贈呈。

7. 9月22日 署名活動で集まった署名を川崎市に提出（川崎市役所第3庁舎副市長室）

福田市長は市長選挙のため公務につけないため、菊地副市長が代理で受理。

立会人として、自民党・公明党・民進党の各市議会議員団団長が出席。

8. 9月24日 福田市長 選挙応援パーティ（ホテルKSP）

当協議会を代表して副会長 須田が参加。

9. 10月4日 吉沢章子氏と懇談（登戸：吉沢章子事務所）

川崎市長選挙に立候補した吉沢章子氏と保育士の処遇問題などについて懇談。

10. 1月5日 福田川崎市市長主催賀詞交歓会に出席（ミューザ川崎）

福田市長、三浦副市長、邊見局長、国会・県会・市議会議員などとの年始の挨拶。

11. 1月17日 神奈川県公明党主催賀詞交歓会に参加（横浜ベイシェルトンホテル大ホール）

来賓者として神奈川県内の国会・県会・市議会議員・県知事・市長・町長が参加。

参加総数2,000を超す。

12. 4月21日 研修会（太陽の子 ホール）

木村順先生を講師に招き、発達障害についての講習会を開催。

（木村順：発達障害における第一人者、著書も多数）

13. その他

● 総会（4月21日）：柏屋（登戸）にて開催。

● 協議会懇談会：てくのかわさきにて4月・12月を除く毎月1回開催。

以上

平成29年度 会計報告

(単位:円)

収入の部			支出の部		
	29年度案	29年度報告		29年度案	29年度報告
29年度会費	390,000	250,000	物品費	15,000	
			会場費	50,000	24,320
フェスティバル関連費 (協賛金及び出店費)	100,000	55,000	研修会費	100,000	51,318
			通信費	10,000	11,188
			慶弔費	30,000	
利息		4	フェスティバル関連費	450,000	378,198
			政党政策懇談会費	50,000	63,048
			WEBサイト使用料	50,000	53,352
			※更新手数料含む (3,780X12ヶ月)		
			コピー代	15,000	52,050
			予備費	322,538	
小計			小計	1,092,538	633,474
28年度繰越金	602,538	602,538	30年度への繰越金		274,068
合計	1,092,538	907,542	合計	1,092,538	907,542

平成30年4月13日

30年度繰越金内訳	預金	266,760
	現金	7,308
	合計	274,068

会計 荒井 智恵(馬本保育所)

監事 鹿島 しげみ(等々力保育園)



第3号議案

30年度 事業活動計画案

1. 川崎市への要望

(1) 川崎市が認可保育所の保育士に支給している処遇改善費と同額を要望

要望理由

(市内認可：処遇改善加算費用20,000円・認定：7,900円)

- ・ 地方税で賄っている部分である処遇改善費を平等に扱っていない。
- ・ 処遇改善費格差により認定在籍職員の流失に歯止めがきかない。
- ・ 等々。

(2) 認定助成交付金の引上げ

要望理由

- ・ 常勤・非常勤職員維持及び確保のため。

例) 新設認可の募集の一例 (3月の中原区募集広告より)

正社員：月給 236,000円～296,000円 入社祝い金 20万円

パート・アルバイト：時給1,600円 入社祝い金 5万円

2. 川崎市政策懇談会 (各政党主催)

(1) 政党別で行われる政策懇談会においての要望は川崎市への要望と同一

開催が7月のため、それまでに追加要望等があればご提案をお願いします。

3. 広報活動

(1) 川崎認定保育園フェスティバルの開催

- ・ 10月27日 (土) 等々力緑地催し物広場にて開催予定。

(2) 賀詞交歓会への参加

- ・ 1月に行われる川崎市主催及び公明党主催の賀詞交歓会に参加予定。

(3) その他の広報活動

- ・ 川崎市の施策・方針により臨機応変に対応・活動する予定。

4. 研修会について

(1) 当協議会の研修会について、日程・時間・場所の調整が困難であるため、現時点においては開催予定はありません。

但し、会員からの要望あるいは要請があれば検討します。

5. その他

(1) 総 会 ・ 年 1 回 4 月に開催

(2) 臨時総会 ・ 緊急案件や重要案件時に応じて開催

(3) 定例懇談会 ・ 月 1 回を目安にてくのかわさきにおいて開催予定
・ 会員からの要望・要請の検討
・ 運営に関わる川崎市の施策への対応対策
・ 等々

6. 川崎認定保育園と協議会会員園数の比率（4月11日調べ）

(1) 施設数

川崎認定保育園総数	129 施設	}	36.43 %
川崎認定保育園協議会	47 施設		

(2) 受入可能児童数

川崎認定保育園総数	5,065 名	}	49.89 %
川崎認定保育園協議会	2,527 名		

以上

第 4 号議案

平成 30 年度会計予算案

(単位：円)

収入の部		支出の部	
30 年度会費収入	450,000	物品費	15,000
フェスティバル関連費	50,000	会場費	50,000
		研修会費	50,000
		通信費	10,000
		慶弔費	30,000
		フェスティバル関連費	450,000
		政党政策懇談会費	50,000
		コピー代	15,000
		WEBサイト使用料	50,000
29 年度繰越金	274,068	予備費	54,068
合計	774,068	合計	774,068

平成 30 年 4 月 13 日